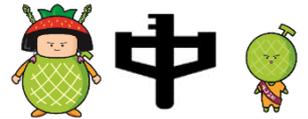




# 耕心 ~夢追いかけて~

佐世保市立吉井中学校  
学校だより 第11号  
文責 校長 川口 貴晴  
令和3年6月4日(金)発行

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成  
【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校  
【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」



## いのちを見つめる講話の感想

6月1日(火)に本校で実施した「いのちを見つめる講話」の感想が素晴らしいので紹介します。全員分を紹介できないのが残念でなりません。

今日は、文字ばかりになりますが、可能な限り生徒の感想を紹介したいのでお許しください。

(表記は、ほぼ生徒の原文通りです)

○校長先生の話聞いて、自分だけではなく、他の人も同じように悩んでいるんだなあと思いました。そして、「みんな違っていいんだな。それが自分らしいことなんだな。」というのが一番心に残りました。課題に気づいていくことが大切で、無理せず少しずつ直せるように頑張り、少しでも目指している人に、ゆっくりとゆっくりと頑張るって、学校生活をよくして生活し、友達の悩みを聞いてあげながら生活していきたいです。(1年生)

○いのちの講話を聴いて、3つ考えました。1つ目は、命はとても大切で、命はどんな人でも平等なもの。2つ目は、あの壺の話でも出た、割れて何か失敗しても、そのおかげで、何かうまいくいということ。割れた壺のようにミスしても、そのミスにより誰かが救われることがある、だから失敗しても大丈夫だと思いました。3つ目は、あのアンケートで、みんな言葉はたくさんあるけど、同じように書いていてほっとしました。それで、言葉は違うけど、みんな一緒だと思います。一人だけだと思えることはないということがわかりました。とてもありがとうございました。(1年生)

○ぼくは、校長先生の話聞いて、命を大切にしようと思いました。理由は「あなたは、あなたらしくていいですよ!」の言葉が心に残ったからです。ぼくは、●●を習っているから、あきらめようとしたときに、この言葉を思いだしたら、もっと楽しくできると思ったからです。また、お母さんやお父さんに迷惑をかけていたから、自分のできることをお母さん、お父さんにやりたいからです。今度からも、自分は自分らしくできることや、やりたいことをしたいです。(1年生)

○校長先生のお話を聞いて、自分を大切にすることの大切さを学びました。私は、今の自分が嫌いです。理由は、性格や、自分ができないって思ったらすぐにあきらめちゃうからです。続けようとしても続けられないことに、自分でも情けなく思いました。自慢できることや、得意なこと少ないけど、これから増やせた

らしいなと思います。自分自身を好きでいられるように、これからもっと努力して、楽しい学校生活を送りたいです。今は、何事にも楽な方に逃げてしまったり、自身がなくて発表できなかつたりもするけど、これから長所をたくさん増やしたいです。自分自身を大きく成長できるようにがんばります。(1年生)

○今回の「いのちの講話」をきいて、私は自分らしいことの大切さを学びました。たくさんの方がいて、まったく同じ人は一人もないけど、だからこそ、その人の個性が出るし、お互いに助け合ったり、楽しく生活できているんだなあと思いました。そして、私は自分と周りの人をより大事にしようと思いました。自分が気付いていないだけで、本当にたくさんの人から助けてもらっているし、意外と自分も助けてあげていることがあるなあと思ったからです。これだけの人がいるから合わないこともあると思うけど、それを理解してあげるこそが優しさだと思います。これからは、自分らしくいて、人には優しく接して、頼られる存在になりたいです。(2年生)

○アンケートの結果などを見て、自分が好きな人は、すごいと思いました。僕は、こんな自分を好きになったことがなかったので、アンケートにもあったように、「お母さんが産んでくれたから」ということを聞いたら、自分を好きになれそうな気がしました。自分の良いところも、あまりなかったけど、アンケートで変わりました。けど、変えてみたいな、ということはいくらもありました。僕は、苦手な人を無視してしまうことがあるので、みんなに優しく、頼られる自分になりたいと思いました。このアンケートで、すごく変わるんだなと思いました。あきらめるじぶんもあったので、直したいなと思いました。これからは、信頼される、頼られる自分を目標にして頑張っていきたいと思いました。(2年生)

○いのちの講話を聴いて、僕は、自分らしく生きようと思いました。得意なことや改めてみたいと思うことについて、様々な意見があって、いいなと思いました。なりたい自分になるには、人としてしっかりすることが大切だとわかりました。校長先生が言ったように、「合い」という言葉がとても気に入って、これからは「合い」という言葉を思い出しながら生きていきたいです。いのちの講話の話は、みんなで考えることが大切だと思います。いのちの講話の話をして下さって、ありがとうございました。(2年生)

○校長先生の話を書いて、一番心に残ったのは、「自分だけではなく、みんなも同じように悩んでいて、みんな違って、あなたらしくていい」ということが、すごく心に残りました。前までは、みんなはできるけど自分はできなくて、すごくへこんでいた時があったけど、この言葉を知って、できないことがあってもいいのかということに気づきました。僕は、これからいろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。

(2年生)

○「いのちの講話」を聞いて、自分が一番大変と思っていたけれど、他の人も大変だと聞いて、苦労しているのは自分だけじゃないんだなと思いました。これからは、得意なことや自慢できることを増やしたいと思いました。また、壺の話を書いて、自分では気づいていないだけで、他の人には役に立っていたりするものなんだということを知りました。これからは、自分に自信がもてるようにしていきたいと思いました。この「いのちの講話」を聞いて、これからの人生に役立たいと思います。(2年生)

○集会の話を書いて、本当にいのちが大事なんだなあと改めて思いました。その中でも、壺のお話が一番心に響きました。ぼろぼろな壺だからといって、悪いことはひとつもない、本当に僕もそう思いました。自分はだめなやつだと思っても、みんなからは頼りにされているかもしれないからです。これからも命を大事にしていきたいと思いました。(2年生)

○最近、小3の妹が「私と小鳥と鈴と」を音読していて、「いのちの講話」に出たとき、まだ、私たちが小さな頃からずっと、校長先生がおっしゃっていたような大切なことを教えていただいたんだとほんのちょっと感動しました。「考えることは皆一緒」という言葉が、今日の講話のテーマのうちの1つだったと思います。また、「つぼ」のお話もとても印象に残っていて、ちょっとうるっとくるところがありました。命があることに感謝をし、この人生を楽しく全うすることが使命なのだと思いました。生きることの意味があり、また、命を大切に、誰かのために生きられたらうれしいです。(3年生)

○毎年この講話で、改めて命の大切さを感じることができると、今回は、吉井中のみんなの考えが発表されていて、とても興味深かったです。その中でも、一番心の中に残ったのは、ひびのある壺の話です。自分は役に立ってないと、落ち込んでいる壺を励まして、自分も役に立っているんだと思えるようにする壺の持ち主はすごいと思いました。今回の講話は、今までとは少し違う形で命の大切さや生きる大切さを知れてよかったなと思いました。(3年生)

○「いのちの講話」を聞いて、もっと自分を大切に、自分を好きになろうと思いました。自分だけが自分のことについて悩んでいるのかなと思ってはいたけれど、みんなそれぞれ悩みをもっていたので、心が少し楽になりました。校長先生が、「あるがままの自分でいい」とおっしゃっていてとても印象深かったです。自分の得意なところは伸ばしていこうと思ったし、改善した

いところは、ゆっくりと変えていこうかなと思います。とても学ぶことのできた講話でした。ありのままの自分で生きていこうと思えました。よい機会になりました。(3年生)

○今日の講話を聞いて、案外自分が思っていることだったり、悩んでいることは、周りの人たちも一緒なんだなって思った。自分のことが好きかという質問で、私が一番心に残った回答が1つあった。それは「私は私だから好き」という回答だった。確かに考えてみると、仮に名前がすべて同じでも、性別まで同じでも、考えることや見た目、性格は一緒ではないなと思った。だから、これからはもっと世界に一人しかいない私を愛して、大切にしていこうと思った。それが、命を大切にすることともつながるなと思った。(3年生)

○今日の話は、とても参考になるものばかりだった。人は、それぞれ特性を持っていることで、その人その人に長所もあれば短所もある。決して同じ人などいない。その人の個性を尊重し、認め合っていくことが大切だと思った。また、一人の人として、自ら伸びようと努力する姿勢を持つことが、大事だと思った。努力する姿勢を持たなくなったら、その人は、その先に進むことができなくなる。努力する人には結果が必ずついてくる。だから、努力し続けていきたい。最後に、自分らしく生きて、他人の言葉にとらわれず、自由に生きていきたい。(3年生)

○今日の「いのちの講話」をきいて、私はそのままの自分でいいんだと思うことができました。自分の直さないといけないところは、少しずつ直していこうと思った。ひびのある壺の話を書いたとき、どんな人でも絶対に魅力があり、いいところがあると学ぶことができました。今の自分のきれいなところやコンプレックスをちょっとずつ好きになっていけたら嬉しいです。命のことや自分をもう一度見直す機会があり、良かったです。(3年生)

○私は、今日の講話でいろんなことを考えさせられました。一番心に残ったのは「命」の話です。命は、絶対に大切にしないといけないんだと改めて感じました。今の自分がいるのは、家族や友達のおかげなのであって、自分一人の判断で、命を絶ってはいけないし、逆に命を奪うようなことは、何があってもダメだとわかりました。そのために、日常からの生活をもう一度見直していきたいです。そして、いつも自分を支えてくれる人たちに感謝を伝えたいです。(3年生)

○僕は今日の話を書いて、としを取るたびに自分が好きになるということがわかりました。そして、壺の話を書いて、自分の短所はどう思うかによって自分の長所にもなるということがわかり、少しだけ自分が好きになりました。これから、このことを生かして、だんだん自分のことを好きになろうと思います。(3年生)

どの生徒の感想も今回の講話の願いをしっかりと受け止め、今の自分を見つめ直し、前に向かって歩いていこうという思いと、「愛」＝「合い」にあふれた内容ばかりでした。自分らしく人生を歩んでください。

